

# 英語リスニング A Listening A

薬：K2-04111MY、生命：K2-04111MS

素養科目 1、2、3年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A・B組：稲田 俊一郎、C・S組：林 弘美

## ■教育目的（各クラス共通）

リスニングの授業では、みなさんにとって馴染みのある内容や興味のある話題を英語で聴き取れるようになることに加えて、みなさんの想像を越えた情報も英語で聴きとれるようになることを目指します。そのためには、「英語で聴く」という実践的なリスニング能力を支える、「英語を聴く」という基礎的なリスニング能力を意識することも重要になります。みなさんにとって予想外の新しい情報を英語で聴きとれるようになるために、実践的リスニング学習と並行して、英語そのものを聴き取るための学習にも取り組みましょう。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

## ■学習到達目標（各クラス共通）

1. 英語母語話者の英語を含め、世界の様々な人が話す英語を聴いて、ニュースメディアの英語から興味のある情報を得られるようになる(知識、技能)。
2. さまざまなメディアで使われる英語の語彙を補強するとともに、英語母語話者の自然な発音の特徴を学び、英語で何と言ったのか聴き取れるようになる(知識、技能)。

## ■授業内容

### A・B組 稲田 俊一郎

実際のニュースを題材としたテキストを用いて、適宜基礎的なリスニング学習に取り組みながら、海外メディアが発信する英語を自分で理解する方法を学びます。実際のちょっと早口の英語を聴いて、「どう聴こえたか」ではなく「英語で何と言った(はず)か」をどんどん理解して消化していくための基礎を身につけていきましょう。

[No.1] イントロダクション：実践的英語リスニングのために

[No.2] Listening Exercise 1: 英語の音

[No.3] テキスト Unit1

[No.4] Listening Exercise 2: 発音してくれない音

[No.5] テキスト Unit2

[No.6] Listening Exercise 3: つながる音 1

[No.7] Listening Exercise 4: つながる音 2

[No.8] テキスト Unit3

[No.9] テキスト Unit4

[No.10] テキスト Unit5

[No.11] Listening Exercise 5: 予測して聴く

[No.12] Listening Exercise 6: 意図を読み取る

[No.13-14] これまでの復習

[No.15] 期末課題に取り組む

この授業はオンデマンド形式ですが、MY-CAST を活用して課題に対する皆さんの回答一覧を常に参照しながら、全員参加型で進めます。

**準備学習（予習・復習）**：予習：教科書の該当範囲に知らない単語があれば、辞書で調べておく(20分-30分)。

また、付属の音声を確認しておく(10分-20分)。

復習：教科書の各ユニットの内容理解の問題や追加のリスニング課題を用いて各自で行う(15分)。

**授業形態**：課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**：毎回の授業で各課題について参加者全員の回答を参照し習熟度に合わせたフィードバックを行います。そのため、指定の期日までに、必ず授業内容を踏まえて課題に回答し、解説を聞きながら復習できるようにしてください。

成績は、

・毎回の課題(MY-CAST)の提出率(40%)

・期末課題(MY-CAST)の得点(60%)

で総合評価します。

**教科書**：『CNN：ビデオで見る世界のニュース(25)』 関西大学 CNN 英語研究会編著(朝日出版社)

### C・S組 林 弘美

下記テキストを用い、アメリカの学生向けニュース番組 CNN10 を題材として、リスニングを中心とした演習を行う。この授業はオンデマンド形式で進める。具体的には、毎回 MY-CAST 上で課題を出し、その回答を確認しながら次のユニットに取り組んでいく。各学生が音声ファイル等を操作し、自分のペースでリスニングに取り組んだ上で、大体の内容が理解できているか確認を行い、その後、より詳細な部分の聞き取りへ進んでいくようにする。あわせて、語彙力の増強、音読練習、重要表現・文法事項の確認を行う。各回の授業内容は次の通り。

[No.1] イントロダクション：実践的英語リスニングのために

[No.2] テキスト Unit 1: Baseball in Japan Listening Exercise 1: 英語の音

[No.3] 期末試験に向けての学習方法(その1：過度に不安にならないように)

[No.4~7] テキスト Units 2,3,4,7

[No.8] 期末試験に向けての学習方法(その2：さまざまな学習方法のご紹介)

[No.9~11] テキスト Units 9, 10, 12

[No.12] 期末試験に向けての学習方法(その3：期末試験の出題形式・問題例)

[No.13-15] これまでの復習および期末試験対策・試験に対するアドバイス

授業外の時間にも、引き続き自発的にこれらの演習を取り入れた学習を進められるようになることを願っている。

**準備学習（予習・復習）**：予習：各ユニットに入る際に、Vocabulary と Vocabulary Exercise に取り組むこと。(30分)／復習：各ユニットの音声ファイルやオンライン映像を視聴し、内容理解を深めるとともに、Dictation または Repeating や Shadowing に取り組むこと。やり方は授業時に指示する。(50分)

**授業形態**：課題解決型学習、双方向型授業（ICT活用）、講義

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**：・毎回の授業時における各学生の演習の状態を確認し、到達度を把握する。

- ・小テストを行い、間違えやすいところなどの解説を行う。
- ・講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・期末試験(70%)、小テスト+レポート(30%)で総合評価する。

**教科書**：CNN 10 Student News Vol. 12 関戸冬彦・小暮正人・Jake Arnold・Christopher Mattson（朝日出版社）